

平成30年8月3日

川崎縦貫道路等の早期整備について要望書を提出致しました

川崎商工会議所、川崎市の幹線道路の整備を促進する会の2者連名にて「川崎縦貫道路等の早期整備について」別添のとおり国土交通省並びに神奈川県選出の国会議員の方々に要望いたしました。

- 1 日時 平成30年8月1日（水）午後1時45分
- 2 場所 国土交通省及び議員会館
- 3 要望先 国土交通大臣及び神奈川県選出国会議員 他
- 4 要望者 川崎商工会議所 会頭 山田 長満
川崎市の幹線道路の整備を促進する会 会長 山田 長満
- 5 要望内容 ※詳細は別添の「要望書のとおり」
 - (1) 東京外かく環状道路（東名高速～湾岸道路間）について、川崎縦貫道路 I 期計画との連携を図り、大師ジャンクションと接続し、川崎縦貫道路の機能を担う計画とすること。
 - (2) 川崎縦貫道路 I 期事業の街路計画を基本に、国道409号の一般部の先行整備や川崎駅周辺の交通円滑化のための国道15号～国道1号間のバイパス化など経済効果の大きな整備について、早期実施を図ること。

これに伴い、8月2日、川崎商工会議所と川崎市幹線道路の整備を促進する会の2者連名において、首都高速道路株式会社 代表取締役社長 宮田 年耕氏に要望書を提出いたしました。

<問合せ先>

地域産業部 事業課 遠藤・井上
電話：044-211-4113



田中和徳衆議院議員



中山展宏衆議院議員



笠浩史衆議院議員



中西健治参議院議員



首都高速株式会社
代表取締役社長 宮田年耕 氏



平成30年8月1日

国土交通大臣
石井 啓一 殿

川崎商工会議所
会 頭 山 田 長 満



川崎市の幹線道路の整備を促進する会
会 長 山 田 長 満



川崎縦貫道路等の早期整備について（要望）

川崎市は、首都圏における地理的優位性から、臨海部の重厚長大産業を中心に構造変革が進んでおり、市域の南部から中部に向けて多くのマンション群が誕生しているなど、新たな都市活力が形成されております。

特に、川崎臨海部は、羽田空港の対岸に位置する殿町地区キングスカイフロントをはじめ、国家戦略特別区域における重要なエリアとして、既存産業の高度化・高付加価値化や先端産業の集積・創出、物流機能の高度化などにより成長・発展を続けております。

こうした中、特区効果をはじめ、産業変革がもたらす効果を、細長い市域において高め、さらに首都圏に波及させるためには、東京湾アクアラインを起点とし、市域を縦方向に貫く川崎縦貫道路と都心圏域を環状に連絡する東京外かく環状道路など、広域的な幹線道路ネットワークの形成が不可欠です。

多摩川を挟んで計画される両路線については、長らく計画の具体化に向けて進展が図られなかったものの、2016年2月には、「東京外かく環状道路（東名高速～湾岸道路間）計画検討協議会」が設立され、これまで開催された計4回の協議会の中で、「概略ルートについては、湾岸道路側で川崎側に接続することにより、川崎縦貫道路計画との一本化が図れる」との意見が出されるなど、当該区間の計画の具体化に向けた機運が醸成しつつあるものと考えております。

つきましては、本市の立地優位性を活かし、整備効果の最大化を図るとともに、益々熾烈となる国際間競争の支援など、豊かな国づくりの礎を築くため、次の2点について、特段のご高配賜りたくお願い申し上げます。

1. 東京外かく環状道路（東名高速～湾岸道路間）について、川崎縦貫道路Ⅰ期計画との連携を図り、大師ジャンクションと接続し、川崎縦貫道路の機能を担う計画とすること。
2. 川崎縦貫道路Ⅰ期事業の街路計画を基本に、国道409号の一般部の先行整備や川崎駅周辺の交通円滑化のための国道15号～国道1号間のバイパス化など経済効果の大きな整備について、早期実施を図ること。

以上